

県営青山アパート(1~7棟)

水道の凍結防止について(水抜きと通水方法)

【1】水抜き・湯抜き操作

(1) 台所・洗面・浴室の蛇口から、水を少し流しておきます。

※水とお湯が両方出るように、レバーは中央に、浴室の温度設定はロックボタン(赤)前後としてください。
洗面台は、水もお湯も少しずつ開いてください。



シャワーホースは、床に置いて下さい

(2) 玄関脇のパイプシャフト内(水道メーターのある所)で水抜き操作を行います。

- ①の給水弁レバーを時計回りに90度回して、水を止めます。(レバーを横にする。)
- ②の水抜き栓ハンドルを時計回りに回して、水道管内の水を抜きます。
- ③の湯抜き栓ハンドルを反時計回りに回して、給湯管内の湯を抜きます。



- (3) 浴室の吐水切替をシャワー側に切り替えて、シャワーホースからも水を抜いてください。
- (4) 長期間留守にする場合は、トイレタンクのレバーを操作してタンクの中の水を全部流して下さい。
また、洗濯機の給水ホースを外し、洗濯機の蛇口からも空気を入れてください。
- (5) 蛇口から水滴が出なくなったら、事故防止のために、全ての蛇口を閉めてください。

※以上で、水抜き操作は終わりです

【2】通水操作(水・お湯を出す時)

- (1) 各蛇口が閉まっていること、洗濯機の給水ホースがつながっていることを確認して下さい。
- (2) パイプシャフト内のバルブ類を水抜き時の手順とは逆の順番で操作し通水します。
 - ③の湯抜き栓ハンドルを時計回りに回します。
 - ②の水抜き栓ハンドルを反時計回りに回します。
 - ①の給水弁レバーを反時計回りに90度回して、水を出します。(レバーを縦にします。)
- (3) 各蛇口のハンドル(またはレバー)をゆっくりと、少しずつ開いて水を出します。
この時、水と一緒に空気も噴き出しますので、水の飛び散りにご注意ください。

※以上で、通水操作は終わりです

※ 通水当初は、濁った水・湯が出る場合がありますので、濁りがなくなるまで流してからご使用下さい。

※ 給水弁、水抜き栓、湯抜き栓のハンドルは、全開または全閉でご使用下さい。
中途半端な位置での使用は、漏水事故の原因となりますのでご注意ください。

給湯器の凍結防止について

お住まいのお部屋には、給湯器が設置されております。凍結による故障は自己負担となりますので、先の水抜き操作に加え、以下のことをお守りください。

- ① 冬期間中は、長期不在の場合も、宅内の契約ブレーカーを切らないでください。
また、分電盤内に給湯器及び凍結防止ヒーターの表示があるブレーカーは、絶対に切らないでください。
 - ② パイプシャフト（水道メーターがあるところ）に、凍結防止ヒーターがある場合は、コンセントが差し込まれているか確認し、抜けている場合は差し込んでください。
 - ③ 給湯器のコンセントも抜かないでください。（給湯器本体のヒーターが作動するため）
-
- その他詳細については、各取扱い説明書をご確認ください。
 - 電力の契約解除などを行う際には、事前に住宅センターにもお知らせください。